

R.F.C.M Heartful Report

リスク・ファイナンシャル・カウンセリング・マネジメントのハートフル・レポート===2012年11月号

●電卓キーの“+”と“×”の思考で夢を実現

♪～人生楽ありや～苦もあるさ～♪～
 ♪～涙のあとには～虹も出る～♪～
 ♪～歩いてゆくんだ～しっかりと～♪～
 ♪～自分の道を～踏みしめて～♪～
 誰もがご存じの国民的英雄…『水戸黄門』の主題歌「ああ人生に涙有り」(作詞:山上路夫)の一番の歌詞です。
 チョットだけ哀愁を感じる部分もあるけれど、自分のあるべき位置をしっかりと踏みしめて、虹(夢)に向かって一步一步確実な歩みを進めていく姿が目に見えます。
 二番では……人生勇気が必要だ～
 三番には……何にもしないで生きるより～♪～
 何かを求めて生きようよ～♪～

自分の目の前に広がる将来を絶望的にとらえて日々を過ごしている人がいる一方、嬉しかったことや嫌だったことのチョットした出来事でも貴重な経験として大切に前向きに進んでいる人もいます。

“生きるとは燃えながら暮らすこと～”という言葉のような情熱的な行動は、その人の総ての経験を活かし、積み上げていくことから生まれるのではないのでしょうか。

計算に電卓キーを叩きますが、加(+)
減(-)
乗(×)
除(÷)の中で加(+)
のキーが大きく出来ているモノをみると何となく安心します。

小さな出会いで得た経験から大切な何かを学び、それを礎にして日常生活や仕事に活かすように心がけていると、それが実を結ぶことになれば自信が湧いてきて、そんな意識で行動していくと次にすることが今まで以上に順調に運ぶようになっていきます。それなりに悩み苦しむ事もあるでしょうが、その経験は、他人を理解するとき何よりも役に立つ経験です。

それを「足し算」の考え方だと教えて下さった方に、私は今でも感謝しています。

年を重ね、経験を重ね、技能を修積することで周囲の人から掛け替えのない人材としてみられるようになります。

すると、問題に秘めた法則性が見えるようになり、初体験のことで、少々の難題でも、過去の経験を活かし、解決する秘策が湧いてきます。

自分が経験からつかんだ「原理原則」を人に伝えられることは、誰にも後ろめたさを感じることなく、過去の失敗を美化することもなく、淡々と語り伝えられるようになるから不思議に説得力があります。

「加と乗」の思考で夢の実現を果たす

自分の仕事に役立つことはもとより、安易なつじつま合わせではないからこそ困っている他人の仕事や生き方にそれを活用できるということになります。そんな考え方を“経験を掛け算にすることができる人”というようです。

“夢を実現する”ということは、自分に良いことではなく、“自分と関わった人が喜ぶ”という結果なので、『加と乗』の思考を積極的に取り入れてみてはいかがでしょうか。

●あの人のせいで…の減(-)と除(÷)の考えは捨てる

加(+)
乗(×)
の思考と逆な人は、新たな経験を
する中で成功も失敗もあるのに失敗したことばかりが経験則として過大に記憶に残り、新たな行動を控えてしまう。

一度の失敗が、その後の行動のすべてをためらうようになり「災い転じて福となす…」なんていうようには考えが展開しない。

また、失敗したり、嫌な体験をしたときに、「この仕事は自分に合っていない」「あの人のせいで、こんなに嫌な経験をさせられた…」と、“駄目な自分”を誇張して問題から逃避していく“引き算”的な思考になり前に進めないことになる。

それを自分だけの問題としているならまだしも、周囲の人々までも巻き込んで、仲間の発想や思考を混乱させてしまうような人、それは“割り算”的思考の人であり、企業としての業務を前に進めることの障害になる場合もあります。

「やっても意味がないじゃ～ん」と前例にとらわれていたり、無意識に排他的な言動をとっていることに気づいていないのです。

“事業再生”に取り組む場合に何よりも重要になって来るのは、再生に向けた構想を描き実現に向けて豊かな発想をもって行動することがポイントだとすれば、その再生作業に臨む関係者の思考が“引き算思考”“割り算思考”では決して成功しません。

再生する企業の経営陣も、従業員も、それを支援する外部の専門家も…全員が『加(+)
乗(×)』の発想をもって取り組まなければ決して成しません。

リスク・カウンセラーの仕事は、目の前に「マイナス要因」が見つかったときでも、それを「プラス要因」に転じることへの努力を惜しまないという発想で取り組むことを旨としています。リスク・カウンセラーだけでは為し得ない数々の問題は、それを支えて下さる多くの専門家がいればこそ…と感謝しつつ、多くの人々に希望を与えられるように、奮闘を続けているのです。



白：嫉妬、思いやり
 【花言葉】赤：はにかみ

和名では「かがり火花」

豚の饅頭

白、黄などがある。

品改良され、赤、ピンク、

食用としていた。ドイツで

クラミン(Cyclamin)(有毒

性)の塊茎の澱粉を加工して

花よりもサポニン配糖体シ

クル(Cyclo)と命名され、

地中海沿岸に自生し「サイ

原種のシクラメン(別名

「アルプスのスマイレ」は

種ということ?

が誕生したというから国産

強い屋外栽培用に原種との

交配でガーデンシクラメン

平成8年に埼玉県本市

の田島嶽氏によって寒気に

が何故か花壇によく似合う。

に咲く花「ミニシクラメン」

頃になると、勢いづくよう

寒さもひとしおと感じる

ちよっと歳時記

前回までは、特許戦略について説明してきたが、今回は、別の視点として、『企業内における適切な知財活動』について、実際の相談事例から検討してみたい。

《自社の知財活動がうまくいっていることを評価できていない》

最近、ある中小企業(従業員10名程度、創業20年、資本金1000万)の社長からご相談を受けた。相談内容は、特許出願費用が高んで来ているので何とかならないだろうかというものであった。

余談になるが、最近、他の事務所や弁理士が特許出願や商標出願をしているケースについて、セカンドオピニオン的に意見を求められる。

今回の相談事例についても、既に、他の弁理士が特許出願をしており、その出願内容と、その会社の取り扱い製品などについて、リストアップした資料を事前に作成した上で、実際に社長からヒヤリングをさせてもらった。

この会社は、医療機器・消耗品の卸を本業としており、病院に張り付いた営業部隊が病院からのニーズに迅速に対応するというのが基本ビジネスモデルである。卸をしている限りは、特許出願とは直接関係しないわけであるが、最近、病院側のニーズ、例えば、点滴用のラックの改良を受け、医療系部材の開発を行い、その部分について権利取得をしている。

私は、初めに自社開発製品の展開について確認をした。これまで、新規事業と本業との関係が整理できていないままで、新規事業やその特許出願を行って、結果的には、新規事業がまわらなくなるケースが散見されたからである。

しかし、この会社に関しては、開発した点滴用のラックを、大手医療機器・消耗品メーカーに採用してもらい、抱き合わせ商品として販売してもらっていた。さらに、驚くべきことには、大手メーカーの採用のきっかけは、特許権を取得しているという信頼性であった。

ここで、評価すべきは、
 (1)『自社の製品を知財で守る』というベーシックな知財活動が適切に行われていること、
 (2)さらに、それが信頼性に繋がりが、取引企業が安心して製品を取り扱えること、すなわち、販路・取引先の開拓に繋がっていることである。

しかしながら、社長も社員も含めて、目下の知財の支出だけに目がいてまい、『自社は、適切な知財活動を行っていることを認識できていない』のである。まず、私は、適切な知財活動が行われていること、すなわち、知財の活用としては非常にうまくいっていることをアドバイスすることにした。

その上で、どこまで知財に費用をかけるかは、我々外部専門家も入った上で、社内でガイドラインを作成していくことを提案した。適切な知財活動は、外部の人間が

企業内における適切な知財活動
 弁理士 酒井俊之

評価するだけでなく、自社内で議論してそのスタイルを作り上げるべきであるというのが私の考えである。

《自社の知財活動がうまくいっていないことを評価できていない》

これで終わりなら、ある意味ハッピーな話だが、本業との関係が気になったので、収益構造についてもいくつかヒヤリングをさせていただいた。

実は、そこで明らかになったのは、営業中心の収益構造に知財がうまく機能していない点である。営業部隊は、昔ながら病院回りをして、売り上げを上げているわけであるが、この営業部隊が、知財に無関心なのである。

新製品開発は、社長がほぼ1人でやっており、特許出願等の権利化についても、打ち合わせや手続などの管理を1人でやっている。一方、営業部隊もお客である病院から、『おたくは、開発型で大手メーカーとも組んで、他の卸業者とは違う』と言われていても、それで終わっているのである。

すなわち、社長も社員も含めて、『事業(経営)と知財活動が関連づけられていないという、自社の知財活動がうまくいっていない点を認識できていない』のである。

そこで、私は、社長が中心となって行っている新製品開発および権利化により、営業部隊の士気意識を向上させるような知財の活用を提案することにした。

ここでの提案のポイントは、営業部隊に敢えて知財の教育をしないということである。営業部隊が、自社の新製品開発や知財に無関心なのは当然なのである。新製品の開発は、自分の仕事でなく社長の仕事で他人事であり、知財を理解することは余計な仕事が増えるわけだからである。

具体的な提案内容は、(ちょうど自社の総合パンフレットを作成する時期だったこともあり)、総合パンフレットの作成を通して、自社のブランド作りしてもらうことである。個々ばらばらな方向を向いている社内を、自社とはどういうものか(ブランド・ブランドイメージ・ポジショニング)を形成していくことで、1つの方向に向かせるのである。

◆プロフィール◆ 酒井俊之(さかいとしゆき)



1976年生。福島県伊達市出身。慶応大学院基礎理工学専攻修士課程修了。03年弁理士試験合格。04年弁理士登録。同年、創世国際特許事務所に入所。08年、福島事務所開設に当たり所長に就任。

地方公共団体や新聞社主催の各種セミナーの講師として活躍する一方、事業モデル『知財制度の活用戦略』を展開。出願から20日で登録査定という早期の権利化モデルを実現。

東宝経済産業局特許室『東北地域知財経営者及び知財活動復興支援事業』総括委員。東北工業大学非常勤講師など。

2012年版のWHO世界保険統計が発表され、国別の子供(15歳未満)高齢者(60歳以上)の人口の割合ランキング

では、60歳以上の人口割合が最も多い国は日本は30%であり、15歳以下の人口の割合が最も高い国はニジェールの49%でした。

因みに日本における15歳以下の人口割合は13%と最も低い。

また、年齢分布の中央値が最も高いのも日本で、何と45歳となっています。

以下に高齢者と子供の人口割合を整理してみました。

**気になる数字… 30% / 13%
 日本の60歳以上の割合と15歳未満の割合**

【国名】	高齢者/子供	中央値
日本	30/13%	45歳
イタリア	27/14	43
サンマリノ	27/14	…
ドイツ	26/13	44
フィンランド	25/17	42
スウェーデン	25/17	41
ブルガリア	24/14	42
ギリシャ	24/15	41
ポルトガル	24/15	41
オーストリア	23/15	42

以上、10カ国は60歳以上の高齢者の割合が多く、子供の数が少なく中心地の年齢が高いことも類似しています。

フランス	23/18	40歳
イギリス	23/17	40
ロシア	18/15	38
アメリカ	18/20	37
韓国	16/16	38
北朝鮮	14/23	33
タイ	13/21	34
中国	12/19	35
ブラジル	10/25	29
インド	8/31	25
世界の中央値	8/29%	26歳

貸室内で孤独死が発生した際の家主のリスク

不動産コーディネーター 豊田 泰由

自分が所有している貸室で、事件や事故、自殺や孤独死、殺人事件などが発生したとしたら、通常通りの賃貸収入が得られなくなる事はおおよそ想像の通りです。仲介する不動産業者は、当該貸し室内で発生した内容を「重要事項説明書」に記述せず、隠蔽することはできないことになっていますので、新規に募集することが難しくなり、6~10ヶ月も空室のままにしておかなければならない状況も決して希なことではありません。

入居者の自殺、犯罪死、孤独死の発生により、

- ① 家賃収入が減少した場合
- ② 敷金を超える原状回復費用を支出した場合
- ③ 遺品整理費用等の事故対応費用を支出した場合
- ④ 同種の事由(自殺、犯罪死、孤独死)が再発しないよう防犯カメラを設置するなどの事故再発防止費用を支出した場合・・・などの事態になった場合の「家賃補償」や「原状回復費用補償」をしてくれる保険があったら、家主としてはひとまず家賃収入を逸失するリスクは軽減されることとなります。

高齢の居住者が一人暮らしている場合に誰にも看取られること無く、賃貸住宅内で死亡している事件は由々しき問題ではありますが、残念ながら年々増加している実態があることは否めません。

オーナーとして火災保険の契約は当然していることでは、今までは考えていなかった新たなリスクに対する備えも必要ではないでしょうか。必要な方には情報をお知らせいたしますのでお問い合わせ下さい。

■ 認知症予防・新書 ■ No.3 ■

NPO法人 認知症介入指導協会 理事 清輔喜美男
<http://www.ninchisho-yobo.jp>

～寝る子は「脳」も育つ～

—東北大学/滝靖之教授ら研究チーム—

睡眠時間の長い子供ほど、記憶や感情に関わる脳の部位「海馬」の体積が大きかったことを、東北大学の滝靖之教授らの研究チームが突き止めた。研究チームによると、うつ病や高齢者のアルツハイマー病患者で、海馬の体積が小さいことが明らかになっており、滝教授は「子供のころの生活習慣を改善することで、健康な脳を築ける可能性がある」としている。

研究チームは2008年からの4年間で、健康な5~18歳の290人の平日の睡眠時間と、それぞれの海馬の体積を調べた。

その結果、睡眠が10時間以上の子供は6時間の子供より、海馬の体積が1割程度大きいことが判明したという。滝教授は東日本大震災の後、宮城県内の被災者の健康状態も調査しており「十分な睡眠を取れず、ストレスを感じたことが、子供の脳にどう影響を与えるのか、見ていかなければならない」と話した。海馬は脳大脳辺縁系の古皮質に属し、本能的な行動や記憶に関与する。断面はタツノオトシゴのような形。

—日本経済新聞9月18日朝刊—

World Now

研究開発した結果を守る経営者の意識



先月、製鉄業界世界2位の新日鉄住金が5位の韓国・ポスコに対し、技術盗用を根拠に、約1千億円の損害賠償と、鋼板の製造・販売の差し止めを求めた訴訟を起こしました。新日鉄住金側の主張では、当時の従業員が技術流出に関わっていたとのことです。

日本の企業には、従業員を買収してでも盗みたいと他国企業に思わせる技術があります。そこで今回は、調査開発に資本を投下している企業のランキングを、エコノミスト誌のWebサイト(<http://www.economist.com/blogs/graphicdetail/2012/10/focus-7>)からご紹介したいと思います。

これは、プーズ・アンド・カンパニーという経営コンサルティング会社が、研究開発費の大きい企業の上位1000社を調べたもので、ランキングは金額ベースになっています。右側の赤字は、各社の売上に対する調査研究費の割合です。

調査開発費1位は、技術革新という言葉に相応しいハイブリッド車を世に送り出したトヨタです。2010年に比べ、トヨタが16.5%も研究開発費を増やしたため、2010年で1位と2位だったロシュとファイザーは、3位と4位に順位を下げました。

そして自動車業界全体では、燃料経済性基準をクリアしたり、電気自動車を改善したりするのに、前年に比べ132億ドルも研究開発費を増やしました。そしてそれを上回る134億ドルもの投資を増やしたのが、コンピューターやエレクトロニクスの分野です。このランキングにも、ヘルスケア分野と並んで複数社登場しています。

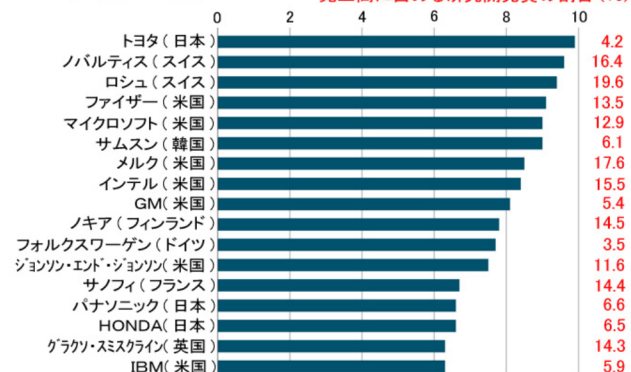
世界経済の状況から考えると、こうした投資は余力から生まれたのではなく、次の時代の生き残りを賭けて生み出したものだと思えます。しかし、そこまでして開発した技術も冒頭のように盗まれてしまえば、意味がありません。

冒頭のケースにおいて、日鉄住金側の主張内容が事実だとすれば、離職した社員をすべて管理するのは不可能でしょう。それでも、自社の権利を守る意識を強くもつことは大切なことですので、具体的方策を決めるにあたっては、当社にご相談いただければ、弁理士、弁護士、技術士などの専門家が支援いたします。

研究開発費

2011年 単位:10億ドル

売上高に占める研究開発費の割合(%)



出典:プーズ・アンド・カンパニー

「人に親切にしてもらった…」という話が多い人

相談内容の多くは、悔しかったこと、腹が立ったこと、苦しいこと、辛かったこと、悲しかったこと、…等ですが、中には、お話の内容が…

「〇〇さんにはこんな風に良くしていただいた…」
「〇〇さんのお陰で…、今ではすっかり元気に…」
という言葉に、聴かせていただくカウンセラーの気持ちまで和んできて、相談が終わった後の部屋の空気までもが良い香りが漂っているようにさえてきます。

そんな穏やかな人にも悩みはあるもので、「社会的な配慮」が苦手な人は、時折、自分を守ろうとする気持ちが高まるが故に理性的な言動で支持されることに対して、時に不快感を持つようになり、思わぬところで精神的な安定を欠く人があるようです。

でも「人に親切にしてもらった…」と話をする人には、「いいことは人のお陰、悪いことは自分のせい」などと言いつつをしないので清々しさを感じます。

そして、友人や“夢”や“ロマン”を応援したいと真剣に思っているような人は、嬉しい話をしたときに自分のことのように一緒に喜んでいきます。

こんな人となら一緒にいるだけで元気がでて、自分が悩んでいることも一気に解決して意欲が湧いてくるように感じられる人。

カウンセラーがカウンセリングして欲しくなるような人に出会うことが希にありますが、そんなときには、自分の目の鱗が取れるように感じて、再び逢えることが楽しみになります。

カウンセラーであって良かったな～と思うときは、やはり心が洗われるような気持ちを持たたときで、そんな出会いがあることを楽しみに出来るからこそ、辛く苦しい相談にも快く対応できているような気がしています。

人からしていただいた暖かい心持ちを大切に心根に受け止め、人を裏切ることなく穏やかに仕事ができることになれば、最高の人生であるように感じています。

自分の立ち位置の原点を、そのように振る舞えるひとから学ばしていただいているつもりですが、“言うは易く行うは難し”です。

リスク・カウンセラー奮闘記・102

愚痴や泣き言が多く…悪口で盛り上がる人

相談者の話の多くに、“自分に有利なネタ”と“相手に不利なネタ”だけはしっかりと記憶に留めているような人ですが、お話を伺っていて気分が悪くなるほどの時もあります。

特に感じるのは「自分がこんなにも苦しんでいるのだからあの人が苦しめないなんて絶対に許せない…」と声高に力説するような人の話は、部屋の空気がどんよりとして感じられることもあります。

お話を聴き進むうちに、その方のお相手ご自分が自分に善意を示した行動をしてきていることが分かっているようなのですが、その善意はあえて拒絶し、円満解決ができていいだろうと思うことでも“復讐”したいという気持ちが優先して、自分自身で混乱している様子が見えがわれるのです。

“江戸の仇を長崎で討つ”かのように、相手にとっては謂われのない攻撃に戸惑うばかりで、問題の解決が遠のいてしまうことになりがちです。

恨み事を念仏のように言葉にしていることは本人の意識にはないのですから“不作為による攻撃”と言えるのかもしれない。

うまく解決できるかな…と相手に期待をさせておいて「やっぱり駄目！」と嘘泣きして、一気に奈落の底に落とすことを常套手段のようにしている人は、永遠に問題の解決など出来ないのでは…と少し心配になってしまいます。

豊かな感受性を持っている人は、芳醇な思考回路と包容力とによって周囲の人までもが温かな感情で包みこんでくれます。

大海に漕ぎ出そうとする船に乗ったとき、経験豊かな船長に身を委ねるかのような信頼関係をもてる人間関係を誰もが探し求めていることでしょう。

リスク・カウンセラーとして目指すのは、喜怒哀楽も善悪もすべてのことを聴き受けるようになることで、まさに“感受性の豊かな人”と云われるような人になりたいと心から思いつつ、未熟さを克服できるよう頑張っていますので、宜しくご指導をお願いいたします。



富貴への道

再生・再起への道

起死回生への道

ご利用ください! 『経営危機から家族を守る!』のしおり

このキーワードは、リスク・カウンセラーが小規模経営者に向けて訴え続けている永遠のテーマです。

- ①正しく“家訓を守り”承継できる会社経営をめざす経営者
- ②急成長したのに資金繰りに行き詰まり再生に挑む経営者
- ③長引く経営不振に決断が先送りになり迷走している経営者
- ④不慮の事故により経営が危機的状態となった経営者の家族
- ⑤企業再生が失敗に終わり“起死回生”に向けて頑張る経営者

“万が一”の経営危機を回避するには日頃からの備えが必要です。

※問題が起きる前に社内勉強会にお役立てください。
※出張による少人数制ミニセミナーをお受けしています。

◇発行者 **株式会社 ホロニクス総研**
 ◇責任者 代表取締役・リスクカウンセラー 細野 孟 士
 ◇連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-12
 TEL.03-5684-0021 FAX.03-5684-0031
<http://www.holonics.gr.jp>
【ホロニクス】
 (英: Holonic) 全体(ホロス)と個(オン)の合成語。
 すなわち組織と個人が有機的に結びつき全体も個人も生かすような形態を言う。生物は個々の組織が自主的に活動すると同時に独自の機能を発揮する一方でそうした個が調和して全体を構成する (小学館「カタカナ語の事典」より)

Copyright © 2012 R.F.C.M. All Rights Reserved.